

留 学 報 告 書

記入日:2017年4月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アラバマ大学 現地言語: 英語/University of Alabama
留学期間	2016年8月～2016年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	College of Arts and Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年12月24日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料		1,550,000 円	
宿舍費		500,000 円	
食費		300,000 円	
渡航旅費		270,000 円	フライト変更代含む
その他		100,000 円	旅行費用
合計		2,720,000 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	個室付き寮
2)部屋の形態	
	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3 人)
3)住居を探した方法:	
	現地大学が手配
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	Bryce Lawnというアパートのような寮。キッチンや洗面所などは3人で共有だが個室があり快適であった。交換留学生はこの寮に入ることができたがELIの学生は相部屋であった。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	Education Abroad、現地学生の友人。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	危険情報はキャンパスポリスがメールで配信。ルームメイトが自転車を盗まれたり、自分自身もUSBを盗まれたが特に通報などはしていない。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	寮のネットは時々つながりにくい時があるがおおむね良好。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	海外送金を利用。受け取りはキャンパス内のスーパーマーケットで2回ほど利用。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	歯ブラシと歯磨き粉は日本製の方がよい。
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	渡航前に大まかな授業料や寮費を大学指定の送金サービスを使って支払い。渡航後に設備費などをクレジットカードで支払い。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
	この留学でアメリカで働くこと、また大学院に進学するということが全く非現実的ではないことがよく分かった。卒業まではゼミに力を入れ、そこで勉強していく中で大学院に行くのか、また就職するのを見極めたい。社会人になってから留学をもう一度するという選択肢も視野に入れて勉強に取り組んでいきたい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位(未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Ethics	倫理学入門
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Holly Kantin
授業内容	演繹的な論展開の方法から、義務論や功利主義などの規範倫理学などを学期前半で勉強し、学期後半では中絶や安楽死などの問題について議論する。第 2 学年相当。
試験・課題など	毎回次回分の内容を予習。予習しているか確認するために小テストを抜き打ちで実施。試験は学期中 4 回。正誤問題と記述問題。4 つのリーディング要約課題。
感想を自由記入	哲学や倫理学を勉強したことのある人にとってはとてもいい復習になる上に、アメリカの学生の意見を聞けるのでためになる。その分野で有名な論文や研究レポートなども多く用いるので新しい知識、考え方にも触れることができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Composition for Non-Native Speakers	非ネイティブ向けエッセイ
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Rob Keating
授業内容	英語が母語ではない学生がレポートやエッセイが書けるようになるため、様々な形式のエッセイを各学生が勉強している分野から選び 1000~1250 語程度書く。その上で必要な知識やリーディングを授業で扱う。第 1 学年相当。
試験・課題など	評価は主にエッセイ。5 つのエッセイとポートフォリオで評価。
感想を自由記入	先生は PhD の学生が担当。受講する学生は中国人や韓国人などがいた。エッセイの内容は自分が勉強している分野についてなので自分の知識をまとめるという点でも勉強になった。ELI の授業ではなくアラバマ大学の英語の授業であるのでエッセイが苦手な学生には少々大変かもしれない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Inequality	社会不平等論

科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ariane Prohaska
授業内容	社会的不平等について社会的に考える。社会的不平等がどのように生まれ、どのような影響を持つかなどについて個人の事例も参考にしつつ分析する。授業内でアメリカの社会システムについても多く触れる。
試験・課題など	マークシート形式の中間試験とエッセイ形式の期末試験のほかに、学期中1回のディベートや、社会的不平等に関わる直近6カ月の出来事についてのエッセイを2つ。
感想を自由記入	社会的不平等についての概説的な授業に加え、人種的マイノリティなどについて書かれた文章を読む。日本の中では、なかなか知る事が出来ないアメリカにおける社会的不平等の現実や、それを引き起こす社会システムについて詳しく勉強するので興味深かった。学生数は少なく、グループでのディスカッションも多いので、臆せず発言できるくらいの度胸は必要かもしれない。留学生は自国のシステムや実情について積極的に話すことが期待されるので、大まかに説明できる程度にはなっておきたい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to African American Studies	アフリカンアメリカンスタディーズ入門
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jeniffer Dominique Jones
授業内容	アメリカにおけるアフリカ系アメリカ人の歴史や文化を学ぶ。取り扱うものは黒人奴隷からヒップホップなどの現代の文化まで扱う。学生の発言を重視する。
試験・課題など	中間試験が記述問題、期末試験はエッセイ形式。
感想を自由記入	受講者の9割はアフリカ系の学生であったので、なじむまでに時間がかかった。英語もアクセントなどが強く聞き取ることが難しいことが多々あったが、普段聞くことのできない貴重な意見も多々あった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Small Group Communication	スモールグループコミュニケーション
科目設置学部・研究科	College of Communication Studies
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	James Wilson
授業内容	小グループにおけるコミュニケーションがどのようなプロセスで行われているか、またどのようにすれば円滑なコミュニケーションやより良い解決策を導き出せるかを勉強する。五分程度のプレゼンテーションを行うことがある。英語のコミュニケーションを勉強するわけではない。
試験・課題など	試験は中間試験と期末試験で記述問題。学期末にプレゼンテーションを行う。

感想を自由記入	授業のスピードはかなりはやいが、教授は質問にも丁寧に答えてくれるのでとても助かった。短時間でプレゼンの用意をすることもあるが、しっかり内容を把握できれば進めることができる。
----------------	--

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	特になし
4月～7月	TOEFL などの勉強
8月～9月	出願書類の確認など
10月～12月	11 月出願・面接
2016年 1月～3月	
4月～7月	7 月初旬からビザの準備(入学許可証が届くのが遅い) 7 月下旬にパッキング
8月～9月	8 月 8 日アラバマ大学着(1 週間ほどオリエンテーション) 9 月フットボール SEC 開幕 9 月下旬大学学長を交えた留学生向けパーティー
10月～12月	10 月初旬中間テスト 10 月下旬秋休み 11 月下旬サンクスギビング休み 12 月初旬期末テスト 12 月 10 日寮退寮 12 月 24 日帰国
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	海外旅行に一度も行ったことはなかったのですが、小学生の頃からアメリカに対して強い憧れを抱いていた私は、高校生の時に大学在学中に留学することを決めました。留学をする理由は、日本とは違った環境で自分がどれだけ通用するかを試してみたかったからです。自分のプライドがぼろぼろになるような体験をしたいと思っていました。また、将来の選択肢としてアメリカで働くかもしれないので、先に留学でアメリカの生活を体験して、またアメリカに来る理由としたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	特にこれといった準備などはしていませんでしたが、アメリカの学生がどんなものか書籍を用いて予習しました。触れてはいけない話題など知ることができたので良かったです。英語に関しては課題のリーディングがとても多いので、速読の練習をしてから行くといいと思います。授業によっては日本の社会システムなどについて意見することが求められるので、勉強する分野によっては復習してから行きましょう。日本文化に関しては、説明できるようになっておけば損はないという感じでした。
この留学先を選んだ理由	アラバマ大学では交換留学生として、現地で語学学校である ELLI での英語の授業が必修ではなく、取りたい授業を履修することができたからです。英語の授業は日本でも十分受けることができるので、なるべく現地の英語以外の授業を取りたいと思っていました。また、公民権運動などについても興味があったので、その最中にあった大学で勉強することは刺激になると思いました。温暖で勉強に集中しやすい気候もアラバマを選んだ理由のひとつです。
大学・学生の雰囲気	大学のキャンパス内の建物は赤レンガを基調としてとても綺麗です。図書館より外に出て芝生に腰を下ろし、読書したくなるような雰囲気です。また、キャンパスタウンなどには一般の家族も多く見られひとつの町のような感じでした。私が接した学生は温厚な人が多かったですが、活発な学生も多くフットボールのシーズン中は団結力が増し、とても盛り上がります。みんな気さくなのでキャンパスを歩いていると挨拶されることが多々あり、ほのぼのとしています。
寮の雰囲気	寮は外観は綺麗ですが、中はそれほどでもありません。毎月学生が自発的にパーティーを開いたり、誕生日会のようなものを行っていました。寮の近くに男子寮のようなものがあり、金曜日の夜はパーティーなどでうろさいですが、それ以外はとても過ごしやすかったです。アパートの共有部分はなかったのですが、公なイベントのようなものは留学生向けの寮で開かれるものに参加しました。平日夜や休日には友人がダイニングに集まるということも多くあります。
交友関係	英語も特に問題がなく話しても、連絡が途絶えたり、それ以降会わなくなるということが少なからずありました。最初のうちは接し方がよくわからないと思いますが、時間がたつにつれてレストランや遠出する友人ができます。留学生や日本に興味がある学生などから交流の輪を広げていくといいと思います。また、BCM など教会の学生はイベントも多く主催するので、積極的に参加するといろいろな情報を聞くことができ参考になります。
困ったこと、大変だったこと	アラバマ大学を志望する人は、英語に関してはそれぞれ自信があるかもしれませんが、南部訛りや独特な言い回し、アフリカ系アメリカ人の英語にはかなり苦労しました。授業中発言を聞き取れず、そのまま何もわからなかったということが少なからずありました。ましてや複数人が一気にしゃべりだすと、なんのことかわからなくなります。今のうちに標準的な英語以外にも慣れておいたほうが良いと思います。大学の学長と話す機会が何度かあると思いますが、怖気づかないように。
学習内容・勉強について	私は倫理学と社会学を主に勉強しました。リーディングの課題量が多いことはもちろんですが、課題は時間がたつにつれて慣れてきます。それよりも 9 月から試験が立て続けに行われるので、日ごろから復習がいらなくらい授業に集中しました。授業内でのディスカッションや意見交換は多く行われるので、臆せず発言していくことが大事だと思います。授業によっては学生の発言をもとに授業を進める教授もいたため、しっかり聞き逃さないように集中しました。
課題・試験について	最初のうちは課題量になれませんが、空き時間を利用して課題をこなせば睡眠時間を削るということもありませんでした。課題のほとんどは授業中のディスカッションの内容になるのでしっかり取り組みましょう。しかし、試験に関しては、9 月の下旬から試験の連続なので、心身ともかなり疲れると思います。試験とレポートなどが重なると寝る時間もなくなるほどですが、おろそかにせずしっかり取り組みました。範囲のわかっているものは早め早めに取り組んだほうが良いと思います。
大学外の活動について	大学外の活動は特にありませんでした。

留学を志す人へ	<p>留学するにあたって、価値観がガラッと変わるということはほとんどありません。そんな人は今まで何も考えずに生きてきた人だと思います。しかし、留学は日本で意識しなかったことや知らなかったことについて気づかせてくれたり、考える時間を与えてくれます。また、留学の成果を見出そうと焦ることもあるかもしれませんが、焦る必要は全くありません。留学中は、目標があるならそれを忘れず様々なことを積極的に体験することです。マイナスのことも多く経験すると為になるかもしれません。</p>
---------	--

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	11:00-11:50 English Composition	9:30-10:45 Intro to AAST	11:00-11:50 English Composition	9:30-10:45 Intro to AAST	11:00-11:50 Englih Composition		
		課題		課題		課題	課題
午後	12:00-12:50 Intro to Ethics	15:30-16:45 Socail Inequality	12:00-12:50 Intro to Ethics	15:30-16:45 Social Inequality	12:00-12:50 Intro to Ethics	フットボ ール観戦	友人と外 出
	食料品などの 買い物	図書館で自習		図書館で自習		ジム	
夕刻	ジム	18:30-19:45 Small Group Communication	ジム	18:30-19:45 Small Group Communication	ジム		課題
夜	自習		自習		友人、ルームメ イトと夕食	友人と夕 食	課題